

新型コロナウイルス感染拡大防止のための 施設利用上のお願い

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内の消毒や換気を行うなど利用者の皆様が安心してご利用いただける取り組みを進めております。

今後は「新しい生活様式」をはじめ、内閣官房（新型コロナウイルス感染症対策推進室）による「イベント開催制限の段階的緩和の目安」や、関連する業界団体が作成したガイドラインに沿って、下記のとおり運営を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、10月1日以降の取扱いについては、改めてお知らせいたします。

全ての方へのお願い（観覧者を含む）

- ◆予めご自宅等で検温をお願いします。発熱（37.5℃を目安）又は風邪の症状がある場合は来館をお控えください。
- ◆施設入館時に手指消毒又は石鹸による手洗いをお願いします。
- ◆マスク着用又はハンカチで口を覆う等の咳エチケットをお願いします。
- ◆利用者同士で最低1m（できれば2m）の距離を保ってください。
- ◇大声での会話はご遠慮ください。
- ◆備品を利用する際には、手指消毒又は石鹸による手洗いをお願いします。
また、備品類の取扱者を事前に定め、複数人での共用はご遠慮ください。
- ◆飲食については、感染リスクが高いため、次の事項を厳守してください。
対面禁止・会話禁止・十分な間隔の確保・施設の指定した場所
- ◆ゴミはお持ち帰りください。

主催者（代表利用者）様へのお願い

■事業計画時に配慮する事項■

- ◇展示室に同時に入場できる人数は **46** 人までです。この人数を上限として、入場制限を行ってください。
- ◆展示室内では、イベント（ギャラリートーク、表彰式等）を実施できません。
- ◆大型バスでの来場など、団体客の受け入れはご遠慮ください。

（裏面に続く）

◆：必須項目 ◇：推奨項目

横浜赤レンガ倉庫 1 号館

■展示スペースの設営にあたって留意する事項■

- ◆人の滞留や対面での会話を回避するため、間隔を置いたスペース作り等の工夫を行ってください。
- ◇来場者同士の対面を避けるため、一方通行で観覧できるようにしてください。
- ◆屋内屋外に関わらず、展示エリアにはフロアマーカ―設置等の工夫を行い、来館者同士の距離を確保してください（最低1m、できるだけ2mを目安に）。
- ◇直接手で触れることができる展示物（ハンズオン）は感染リスクが高いため、展示しないことを原則とします。止むを得ない場合は、職員が管理して消毒を徹底してください。
- ◇屋外展示を行う場合は、鑑賞者が作品に直接手で触れることがないよう、注意喚起や展示方法の工夫を行ってください。
- ◇展示エリアでの感染リスクを低減するため、清掃時の消毒を徹底してください。来館者が展示ケース等に触れる機会を減らす工夫として、パーティション等を使用することも有効です。
- ◇展示設営時に、人と人との間隔を極力とるようにしてください。

■来場者に対して取り組むこと■

- ◆来場者用の消毒液を用意し、展示室入口に設置してください。
- ◆パンフレット、ちらし、アンケート等を配布する場合は、平置きにするなど、手渡しによる配布は避けてください。
- ◆プレゼント等差し入れはお控えいただくよう、予め来場者にご案内ください。
- ◆来場者の氏名・連絡先を収集してください。必要に応じて保健所等の公的機関へ提供していただく場合があります。なお、神奈川県のLINE コロナお知らせシステムをご利用いただいた来場者の氏名・連絡先の収集は不要です。
- ◇入館前のサーモグラフィや非接触検温器による検温を実施してください。発熱（37.5℃を目安）等の症状がある場合には入館をお控えいただく旨の掲示をお願いします。
- ◇入場時のチケットもぎりのスタッフは、マスクや手袋を着用してください。また、来場者自身が半券を切り、箱に入れることをスタッフが目視で確認する方式等もぎりの簡略化の導入も検討してください。
- ◆展示室内（屋外展示の場合は展示エリア）では、会話を控えるように、来場者へお声がけください。
- ◆特定の展示作品の前に大勢の人数が滞留しないようにするため、スタッフの配置や自動音声による注意喚起等を行ってください。
- ◆オーディオガイド、ヘッドフォンの貸し出しを行う場合は、使用のたびに消毒し、消毒が困難な場合は貸出を中止してください。

今後の感染状況により上記内容が変更もしくは展示室・ギャラリーがご利用いただけなくなる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

◆：必須項目 ◇：推奨項目

横浜赤レンガ倉庫 1 号館